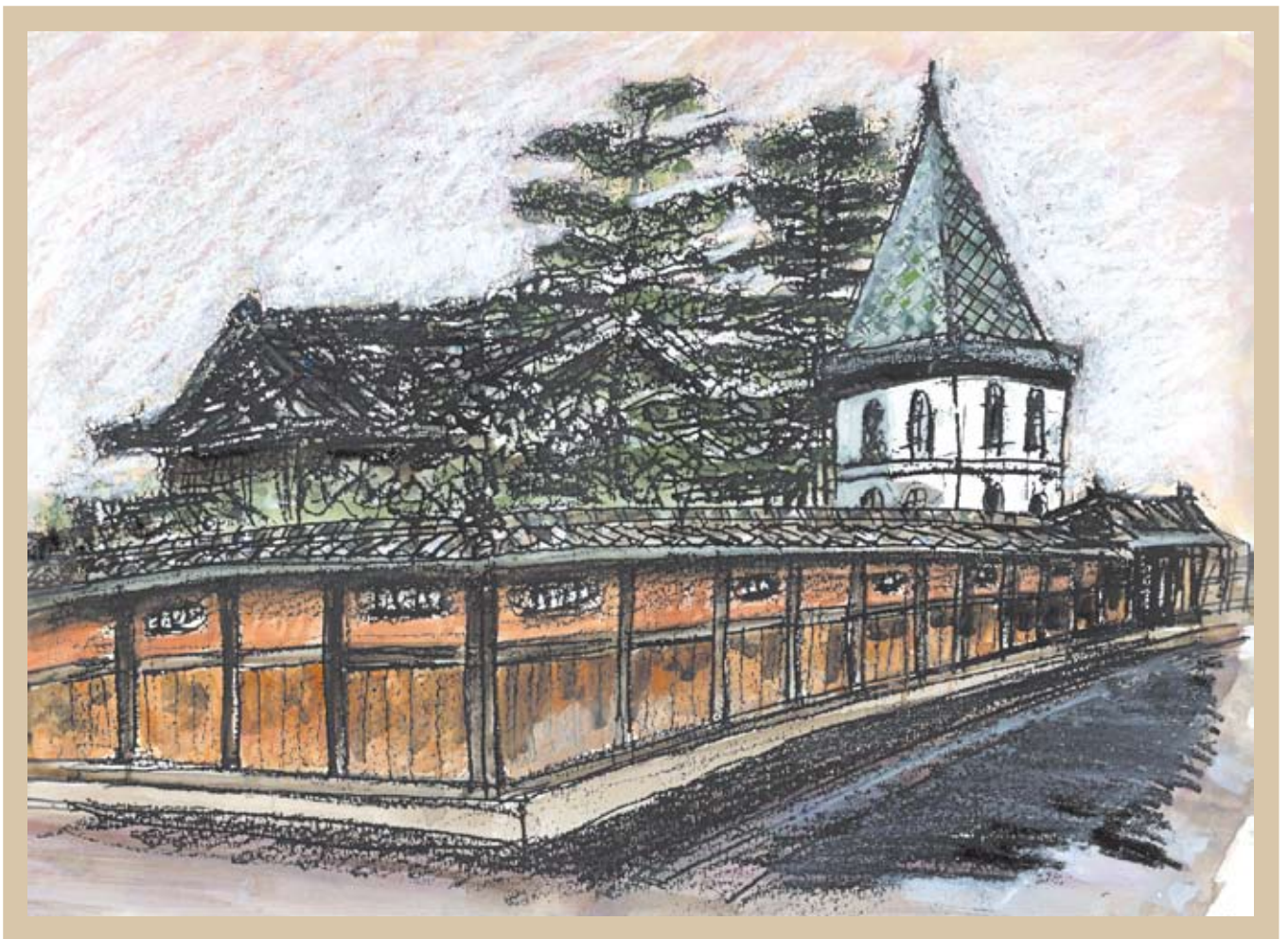




うたづの歴史散歩道



宇多津町教育委員会

うたづの歴史散歩道 ■ MAP



宇夫階神社

宇多津町横町1664番地
Tel. 0877-49-0805
鎮座 / 大同2年(平安時代)



巨石と御膳岩

■ 町指定天然記念物

宇夫階神社の本殿のうしろに、重量300トン以上と推定される巨石(磐座:いわくら)を中心に巨石群(磐境:いわさか)が分布している。

網浦眺望青山真景図絵馬

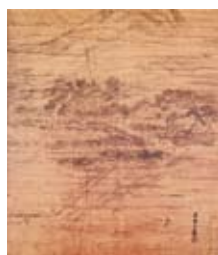
■ 町指定有形文化財(絵画)

安政2年(1855)大原萬年 作。板絵彩色・額装。
宇夫階神社境内 金刀比羅社に奉納されている絵馬。近世の海辺の港町全体が、一つの画面におおよそ正確に描かれているのは県下にも珍しく、貴重な資料である。



本妙寺

宇多津町西町中1563番地
Tel. 0877-49-0057
創建/室町時代(宝徳年間) 宗派/法華宗本門流



宇多津街道図

■ 町指定有形文化財(絵画)

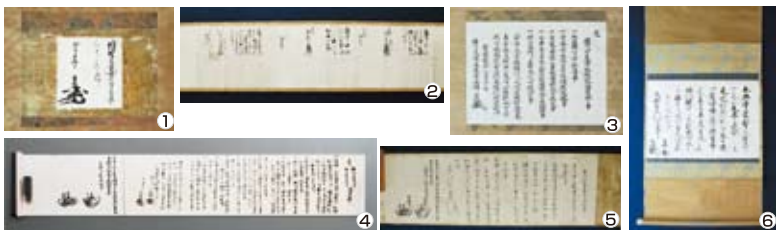
制作時期は文政10年(1827)~天保11年(1840)の間。大原東竺 作。紙本墨絵淡彩・額装。本妙寺を中心に19世紀前半の宇多津の西側の町並みを描く。湾入地形を締め切るように浜町を造成し、宇夫階神社から北に延びる砂堆と古浜塩田によって溝浦形式の港湾施設を施工した様子がうかがえる。

本妙寺文書(八通)

■ 町指定有形文化財(古文書)

すべて室町時代(中世)に関わることを述べた古文書。

1. 豊臣秀吉書状寫
2. ①安富政保書下(折紙) ②安富元保書下(折紙) ③藤原盛家書状(折紙)
3. 弘經院法度定書
4. 本隆寺本妙寺法度定書
5. 本能寺本興寺法度定書
6. 日與日明連署状



聖徳院

宇多津町鍛冶屋町1423番地
Tel. 0877-49-0829
創建/鎌倉時代 宗派/真言宗御室派



木造聖徳太子二歳立像

■ 県指定有形文化財(彫刻)

鎌倉時代前期の作。檜材の寄木造り。目鼻立ち、口元がはっきりして、きりとした福やかな面貌、頬や胸から腹にかけての肉付けが張りのある優しい姿で、いかにも親しみのもてるおだやかな仏像である

木造十一面観音坐像

■ 町指定有形文化財(彫刻)

南北朝時代(14世紀後半)頃の作。檜材の寄木造り。玉眼、肉身部は漆箔、衣部は白土地に盛り上げ文様を施している。着衣法に宋様式がみられ、端正な面相部の表現と安定感のある像容等、丁寧な作域の優作である。



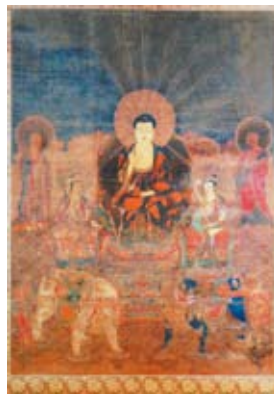
木造地藏菩薩坐像

■ 町指定有形文化財(彫刻)

鎌倉時代中期(13世紀中期)頃の作。檜材の寄木造り、彫眼。全体的に堂々とした姿態表現、均整のとれた像容、理知的な面相表現、膝前の流麗な衣紋表現、さらに特異な木寄せの技法とともに、鎌倉時代中期にさかのぼる地藏菩薩像として貴重なものである。

郷照寺

宇多津町西町東1435番地
Tel.0877-49-0710
創建/奈良時代 神亀2年(725) 宗派/時宗



絹本著色釈迦三尊二声聞図

■ 県指定有形文化財(絵画)

鎌倉時代後期の作。宋様式が十分に取入れられた優作である。普賢、文殊の両菩薩を従えた釈迦如来の説法を聞く二声聞とさらに上方に二仏が侍立している画像である。

木造阿弥陀如来坐像

■ 県指定有形文化財(彫刻)

鎌倉時代末期の作。檜材の寄木造り。玉眼入りで右足を上に結跏趺坐し、来迎印を結んだ阿弥陀如来坐像である。温雅な定朝様の像で、小像であるが正統的な寄木の技法を示しており、作技は入念で荘厳さや善美さが感じられる中央作である。台座、光背は後補。



浄泉寺

宇多津町鍛冶屋町1424番地
Tel.0877-49-0182
創建/安土桃山時代 慶長5年(1600) 宗派/浄土宗



南隆寺

宇多津町山下1437番地
Tel.0877-49-0686
創建/室町時代 寛正2年(1461) 宗派/曹洞宗



多聞寺

宇多津町大門1269番地
Tel.0877-49-6284
創建/平安時代初期(809) 宗派/真言宗御室派



檜柏の木

■ 町指定天然記念物

細川頼之公の御手植の柏と伝えられ一名神柏ともいい、正月には拝む人も多かったと伝えられている。昔、寺を坂出に移転する話があり、檜柏も、その時の準備として枝葉を切り落としたことが惜しまれている。



円通寺

宇多津町田町北1263番地
Tel.0877-49-0019
創建/室町時代 宗派/真言宗御室派



絹本墨画不動明王像 二童子像

■ 県指定有形文化財(絵画)
中幅には剣と索を持った不動明王が、左幅には矜羯羅童子が、右幅には制叱迦童子が描かれている。やや目の粗い絹に独特の美しい筆意で描いた墨画で淡彩を施している。南北朝時代に天龍寺第15世の住持となった禅僧竜湫沢の筆である。

木造如意輪観音坐像

■ 町指定有形文化財(彫刻)
南北朝時代の作とみられる。檜材の寄木造り。玉眼。如意輪観音は通形は六臂であるが、本像のような二臂像は全国的にも珍しく、当寺や宇多津の歴史を考慮する上で貴重な像といえる。



絹本著色摩尼宝珠曼陀羅図

■ 町指定有形文化財(絵画)
南北朝時代末期から室町時代初期とみられる。一幅一鋪の絹地に、二層の楼閣の中に三弁宝珠が置かれ、その下部に二匹の龍と渦巻く雲が描かれている。この種のものは目下、県下では唯一のものである。



掛幅装「絹本著色弘法大師像」

■ 町指定有形文化財(絵画)
室町時代前期(15世紀中期)頃の作。絹本著色、掛幅装。二幅一鋪のやや粗い絹地に弘法大師が図の中央に描かれ、画面に向かって右上に山あいから釈迦如来が影現している図像。中世の弘法大師信仰をうかがう上で貴重な遺品である。



掛幅装「絹本著色愛染明王図」

■ 町指定有形文化財(絵画)
粗目の絹地からみて、室町時代初期頃の作。絹本著色、掛幅装。肉身部には朱が厚く塗られ、肉身線は黒線で描き起こされている。持物の金剛杵や金剛鈴などには金箔がおかれ、さらに膝のあたりも金箔の文様が見られる。燻染のためか画面全体が黒くなり、明確に判断しがたいものの、力強い面相表現や着衣の描写などは的確といえる。



円通寺五輪塔

■ 町指定有形文化財(建造物)
南北朝時代(14世紀後半)の造立とみられ、細川家の供養塔といわれている。花崗岩製のため保存は極めて良好で、優美な形態を示し、県下でも屈指の五輪塔である。

西光寺

宇多津町今市2198番地
Tel.0877-49-0300
創建/鎌倉時代 宗派/浄土真宗本願寺派



徳川光圀書状

■ 県指定有形文化財(書跡)

徳川光圀が、貞享4年(1687)12月7日に礼儀類典を時の霊元上皇に奉り、勅命を以って題号を下さんことを乞うため、内大臣今出川公規を通じて内奏した自筆の書状である。

船屋形茶室

■ 県指定有形文化財(建造物)
江戸時代末期、旧多度津藩で建造した船屋形を床や襖建具など、当時のままで、茶室として用いている。船屋形の形をした数少ない船の遺物である。



聖通寺

宇多津町坂下西2805番地
Tel.0877-49-0128
創建/奈良時代 宗派/真言宗御室派



聖通寺本堂

■町指定有形文化財
(建造物)

桃山時代の建築様式によって、江戸時代初期(承応2年・1653)に高松藩祖松平頼重公が再建されたものである。本瓦葺入母屋造りで美之子化粧造りが取り入れられている。



木造千手観音立像

■国指定重要文化財

平安時代初期の作。檜材一木造り。漆箔の像で、頭の頂上に仏面、髻と地髪に11面の化仏を2段につけ、正面に如来形の立像をいただき、合掌・宝鉢の御手をはじめ脇手を合わせて42本の腕をつけ、両足をそろえて立った普通の千手観音の立像である。

ゆるぎ岩

■県指定天然記念物

聖通寺の南方山頂に位置する。台石とゆるぎ岩からなり、重さ約10トンと推定される。大岩塊が手で容易に揺れ動くことは、珍しい現象で、地質学的にも価値の高いものである。



石造薬師如来坐像

■町指定有形文化財(彫刻)

時代の作。面相の豊かさに特徴をもつ。重量約940キログラムの石坐像である。清和帝の貞観年間(859~876)海中から引き上げられと伝えられ、これにより沖薬師といわれている。



木造釈迦如来坐像

■町指定有形文化財(彫刻)

檜材の一木造りで、肩や膝の張りが力強く、また、体奥も極めて厚く、堂々とした見事な像容である。寺伝には、奈良時代創建時の本尊とある。



古墳

田尾茶白山古墳 ■県指定史跡

多津町と坂出市西部との境にある。茶白に似た標高54mの丘陵上にあり、前方後円墳である。全長80mで比較的墳形をよく保っており、古墳時代前期の豪族の墓とみられている。



積石塚古墳 ■町指定史跡

聖通寺北峰山頂に位置し、古墳時代前期に造られている。これは、北方民族が故郷を偲び眺望のよい場所に埋葬した豪族の古墳と思われる。

青の山山頂古墳群 ■町指定史跡

青の山山頂にあり、古墳時代後期に造られたものである。10基の古墳が確認されており、南西側の山麓や山すその丘陵地帯に分布している。墳石は、付近の安山岩が利用されている。



国の登録有形文化財

文化財の数字 ①～⑱ はMAP上に位置を記しています

① 宇夫階神社本殿



② 徳山家住宅主屋



③ 倉の館三角邸(主屋)



④ 倉の館三角邸(洋館)



⑤ 倉の館三角邸(東門)



⑥ 倉の館三角邸(塀)



⑦ 旧讃岐鉄道岩屋架道橋



⑧ 旧仲杵塩田水門



⑨ 宇夫階神社末社塩竈神社本殿



⑩ 宇夫階神社末社塩竈神社拝殿及び幣殿



⑪ 宇夫階神社末社金刀比羅宮拜殿及幣殿



⑫ 宇夫階神社忠魂社本殿



⑬ 宇夫階神社神饌殿



⑭ 宇夫階神社神輿蔵



⑮ 宇夫階神社雑庫



⑯ 宇夫階神社齋殿



⑰ 宇夫階神社社務所



⑱ こめっせ宇多津



宇多津町の指定文化財一覧

平成24年4月1日現在

番号	文化財区分	文化財名	所在地及び所有者	指定年月日
1	重要文化財	木造千手観音立像	聖通寺	昭和30年 2月 2日
1	県指定有形文化財	徳川光圀書状	西光寺	昭和33年 6月 5日
2	//	船屋形茶室	西光寺	昭和44年 4月 3日
3	//	絹本墨画不動明王像二童子像	円通寺	昭和44年 4月 3日
4	//	絹本著色釈迦三尊二声聞図	郷照寺	昭和47年 5月23日
5	//	木造阿弥陀如来坐像	郷照寺	昭和47年 5月23日
6	//	木造聖徳太子二歳立像	聖徳院	平成 5年12月28日
7	県指定天然記念物	ゆるぎ岩	聖通寺	昭和48年 5月12日
8	県指定史跡	田尾茶臼山古墳	宇多津町と坂出市西部との境	昭和46年 4月30日
1	町指定有形文化財	聖通寺本堂	聖通寺	昭和53年 3月31日
2	//	石造薬師如来坐像	聖通寺	昭和53年 3月31日
3	//	木造釈迦如来坐像	聖通寺	平成 3年12月10日
4	//	木造如意輪観音坐像	円通寺	平成 3年12月10日
5	//	宇多津街道図	本妙寺	平成 6年 1月11日
6	//	絹本著色摩尼宝珠曼陀羅図	円通寺	平成 7年 3月17日
7	//	円通寺五輪塔	円通寺	平成 8年 4月16日
8	//	本妙寺文書(八通)	本妙寺	平成11年 4月13日
9	//	掛幅装「絹本著色弘法大師像」	円通寺	平成13年 4月10日
10	//	掛幅装「絹本著色愛染明王像」	円通寺	平成13年 4月10日
11	//	木造十一面観音坐像	聖徳院	平成15年 8月 5日
12	//	木造地藏菩薩坐像	聖徳院	平成15年 8月 5日
13	//	網浦眺望青山真景図絵馬	宇夫階神社	平成19年12月 3日
14	町指定天然記念物	巨石と御膳岩	宇夫階神社	昭和53年 3月31日
15	//	榎柏の木	多聞寺	昭和53年 3月31日
16	町指定史跡	積石塚古墳	聖通寺山 北峰山頂	昭和55年 3月31日
17	//	青の山山頂古墳群	青の山 山頂	昭和55年 3月31日

番号	文化財区分	文化財名	所在地及び所有者	登録年月日
1	登録有形文化財	宇夫階神社本殿	宇夫階神社	平成16年11月 8日
2	//	徳山家住宅主屋	宇多津町今市 徳山 孝仁	平成16年11月 8日
3	//	倉の館三角邸(主屋)	宇多津町倉の前	平成19年10月 2日
4	//	倉の館三角邸(洋館)	//	平成19年10月 2日
5	//	倉の館三角邸(東門)	//	平成19年10月 2日
6	//	倉の館三角邸(塀)	//	平成19年10月 2日
7	//	旧讃岐鉄道岩屋架道橋	宇多津町岩屋	平成21年 1月 8日
8	//	旧仲楯塩田水門	宇多津臨海公園	平成21年 1月 8日
9	//	宇夫階神社末社塩竈神社本殿	宇夫階神社	平成22年 4月28日
10	//	宇夫階神社末社塩竈神社拝殿及び幣殿	//	平成22年 4月28日
11	//	宇夫階神社末社金刀比羅宮拝殿及び幣殿	//	平成22年 4月28日
12	//	宇夫階神社忠魂社本殿	//	平成22年 4月28日
13	//	宇夫階神社神饌殿	//	平成22年 4月28日
14	//	宇夫階神社神輿蔵	//	平成22年 4月28日
15	//	宇夫階神社雑庫	//	平成22年 4月28日
16	//	宇夫階神社齋殿	//	平成22年 4月28日
17	//	宇夫階神社社務所	//	平成22年 4月28日
18	//	こめっせ宇多津	宇多津町栄町	平成23年 1月26日

・重要文化財(1件)・県指定関係(8件)・町指定関係(17件) 合計(26件) ・国登録有形文化財(18件)